

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年11月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670900184
法人名	(有)めぐみ福祉会
事業所名	大口めぐみの里
所在地	伊佐市大口曾木480番地 (電話) 0995-25-2323
自己評価作成日	平成27年10月8日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年11月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 1、家庭的な環境と地域との交流のもとで自由なやすらぎと憩いの場を提供します。
- 2、個人の尊厳を失うことなく自立を手助けします。
- 3、満足と生きがいを持っていただけるよう努めます。
- 4、職員一人ひとりが認知症ケアについて日々学びの姿勢を忘れず、研修にも積極的に参加しケアに活かしています。
- 5、毎朝朝礼で『介護理念』を唱和し理念に基づいた介護に取り組んでいます。
- 6、利用者の居室、共用の場所、園内全ての空間の清掃、環境整備につとめています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは伊佐市郊外の緑豊かな田園地帯に位置し1号棟、2号棟の2ユニットで運営されている。利用者はのどかな自然の中でのんびり暮らせる環境にある。

自治会に加入しており、地域の清掃活動や総会にも積極的に参加している。又、過去の水害では、入居者全員を安全に避難誘導した事や、地域の一員として住民の救出にも貢献できた経緯は職員の自信や誇りに繋がっており、地域との絆も築いている。毎月、ホームを開放し、趣味やボランティアなどの仲良しグループを招き、踊りや食事会、介護の勉強会など多彩な内容で「サロンめぐみ」を展開している。毎回、参加者も多く、ホームに足を運んで貰うことで、認知症に対する理解や啓発の大切な機会になっている。

職員は理念を基に、毎朝リーダーを決め、目標を立てており、夕礼で評価をすることでサービスの基本である理念の振り返りを行っている。管理者を中心に、新人も経験豊富な職員も共に助け合い、学び合う姿勢が感じ取れる。良好なコミュニケーションはサービスの向上に繋がっており、多くの家族から感謝のコメントが寄せられている。

季節に応じた外出や行事、専任の調理師が作る栄養豊かな食事は利用者の楽しみに繋がっており、生活全般が温かく家庭的な雰囲気である。利用者は生き甲斐や張り合いを感じながら、ここを「我が家」と思い、ゆったり安心して暮らしている様子が伝わって来るホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、朝礼で理念を唱和し理念に沿った1日の目標を立て実践・評価するようにしている。	理念を基に、毎朝、日勤担当リーダーを中心に生活全般で気付くその日の小さな目標を掲げている。夕礼で評価を行い、一日のケアを振り返り反省や改善に向け理念を意識したケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元自治会に加入し行事への参加をしている。また、曾木小学校児童が教育の一環で来園し運動会を行っているなど交流をしている。	地区の清掃や総会に積極的に参加し交流を図っている。毎月ホームを開放し多彩な内容で「サロンめぐみ」を展開している。ホームに足を運んで貰う事で認知症の啓発や理解に繋がり、地域の楽しみ処として貢献している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	①実修生の受け入れを積極的に行っている。②キャラバンメイトの活動等で認知症ケアの啓発に努めている。③毎月1回地域の高齢者を中心対象にサロンを開催して事業所見学案内を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に1回行っており、事業所からの報告をして、参加者からの意見・要望がでるように努めている。	家族・行政・地域代表・警察他の幅広い参加で開催している。ホームの状況報告を密に行い理解を得ている。問題点や要望を話し合い、サービス向上に活かされる会議になるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や更新・認定調査の時にめぐみの里での暮らしが分かるようにして報告している。また、かねてから困ったことが起きた時や分からない時には、市の担当に相談できるよう協力を頂いている。	運営推進会議への出席もありホームの状況も理解してもらっている。相談事や研修案内、更新時など折に触れ連携を図っており良好な関係ができています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての勉強会を行っている。どうしても拘束が必要な場合、家族の同意をいただいて時間を決めて行った事もある。玄関の鍵はかけず利用者様と一緒に行動するようにしている。	職員の見守りや連携で利用者の行動を抑制することなく、自由な生活を支援している。職員の世代やキャリアの差もあり、管理者は今後、言葉遣いを含め身体拘束への正しい理解を更に深める為に研修や勉強会の機会を増やして行く意向である。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止のマニュアルについての勉強会をしており良く理解できている。また、ミーティング等で常に意見を出し合い話し合うようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者レベルでは研修を受けて理解できていても職員間では、まだ理解が不十分なため勉強会が必要。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	めぐみの里で出来ること、出来ないこと、また、本人や家族の意見・要望をしっかりと聞いて理解、納得して頂いて契約してもらうようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活や家族会、面会等で意見や要望等、気軽に声かけして頂けるように努めている。	9月の敬老会と12月のクリスマス会に家族会を開き意見要望の聞き取りの大事な機会にしている。面会時や運営推進会議の場でも何でも言える雰囲気作りに努めており、出された意見や要望はサービスの反映に繋げている。今後は面会が厳しい家族や遠方の家族にもホームでの日常生活が伝わる様に通信の内容見直しも視野に入れている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1度のミーティングや必要に応じて出してもらえるようにしている。しかし、苦情は出しづらいため管理者が職員の声に良く耳を傾けるよう努めている。	日勤担当リーダーを中心に、毎朝日々の目標を立て、夕礼で評価を行う事で一日の反省や改善に向けている。申し送りノートで情報の共有を図り統一したケアが出来る様に努めている。職員と管理者は何でも話し易く相談できる良好な関係が出来ている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務体制作りには、本人の希望や都合を取り入れて無理のない働きやすいよう配慮された勤務になっている。資格取得、健康診断の実施などにも配慮がなされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ミーティングでは、管理者や外部の研修に出た職員が、資料を基に職員を対象にした報告や発表を行い、内容を共有できるよう努めている。また、管理者や事務所からもテーマを決め資料を提供して社内研修をおこなっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>鹿児島県、始良・伊佐のグループホーム協議会に加入しており、他の施設との交流を図り意見交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ゆっくり会話しながら生活状態を把握するようにしている。不安な気持ちや要望を聞いて安心して頂ける様配慮している。その人に合わせ短期利用から入るなどして不安を解消するようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の意見や要望、特に配慮してほしいことをよく聴くことはもちろん、その人の暮してこられた背景や状況把握に努め職員で共有するようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談があった時点で、事前に面会するなどして必要な支援は何か、どのような配慮が必要か情報収集に努めており本人にとってベスト、ベターで落ち着いて頂ける対応を目指している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>上から目線の対応ではなく、アイコンタクトの基本に忠実にコミュニケーションをとってその人の思いを共感することに努め、お互い穏やかに過ごせる様配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度近況報告を書いている。このほか年賀、暑中見舞いのはがきを書いてもらうようにしているなど家族との交流に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの理・美容院、係り付けの病院に行ってもらっている。家族にも友人・知人など面会をお願いしている。	毎月開く「サロンなごみ」で地域との交流もあり、馴染みの理・美容室を継続して利用している。地域の民生委員が訪問する事もある。家族が自宅に連れて帰ったり、誕生会に知人が来る利用者也居る。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者同士気の合う関係を見極め、お互いにうまくいくよう配慮している。例えば居室から出たがらない人には仲のよい利用者に声かけしてもらうなどしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他事業所に移られる場合、情報提供を行い連携をとる等配慮しており、顔を合わせた時など声かけや挨拶を交わすようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	暮らしの中で利用者とコミュニケーションをとりながら、チーム力で利用者の表情や言動、素振りからサインを見逃さないようにしている。また、家族からの情報提供をもらえるようにしている。	本当に嬉しい事や楽しい時には、利用者が笑顔になる事を管理者、職員は見えて感じ取っており、意思の確認が難しい場合でも、家族からの情報や表情、所作から汲み取り本人本位の最大限な支援が出来る様に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者、家族から話を聞き生活歴、趣味、嗜好を把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人の生活リズムを把握し、本人の状態を観察確認している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の聞いてなるべくそのように反映するように努めている。ミーティングではみんなの観察をふまえた意見や感想を引き出すように努めている。	本人、家族の意見や要望を聞き、職員で話し合いの場を持ち、現状に即した介護計画を作成している。モニタリング実践記録表を活用し見直しに活かしている。職員は個々の介護計画の内容を意識して日常のケアにあたっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人別に介護記録あり、日々の生活の様子での変化など全員その中から確認し把握できるようにしている。また、その記録を基計画の見直しや評価を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々人の変化は介護記録にあり、職員は全員その中から確認し把握をするようにしている。家族が希望する外泊時の情報提供、通院の送迎、その他計画の見直しなど適切に行うようにしている。		
29		一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議では、包括支援センター、警察、消防団などの方に参加してもらい地域力が発揮されている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	係りつけ医は、そのまま本人や家族が希望に沿っている。また、事業所の協力医があるのでいつでも診療がうけられるようになっている。	希望の係りつけ医の受診を継続している。受診は基本、家族にお願いしているが、状況に応じホームで柔軟に対応している。診療内容は家族に報告し情報を共有している。急変時や夜間も適切に医療が受けられる様に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調や表情の変化を見逃さないようにスタッフ全員協力し、早期発見に取り組んでいる。異常や事故等あれば即連絡・報告して適切な医療がうけられるようつとめている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には医療機関に速やかに情報提供をして、職員は一日おきに様子見にいたり医療機関、家族との情報交換に努め早期退院が出来るよう働きかけている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化に伴う確認書を取り交わすようにしている。家族の意向を伺いそのつど主治医の意見を踏まえ納得して最後が迎えられよう配慮している。	入居時にホームの方針を説明し「看取りケア説明書」で同意を得ている。家族の協力も得て、これまでに多くの看取りを経験している。段階に応じ主治医の指示の下、職員も家族と方向性を共有し、希望に添える様にホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応マニュアルがあり、定期的に社内研修・訓練を行っている。AEDの使用訓練・勉強会で全員対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防団、自治会の協力を頂きながら通報・避難・消火訓練を行っている。</p>	<p>消防署立会いの避難訓練と自主訓練を合計で年4回行っている。過去に水害を経験しており避難用に利用者を運ぶ折り畳みの担架を廊下に設置し誘導に備えている。訓練には地域住民の参加も得られており、自治会の防災訓練にホームも参加するなど、共に協力関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちに配慮しさりげない声かけ介護を行うようにしている。個人情報についてもマニュアルどおり必要な場合以外は使用しない、漏洩しないよう全員で常に確認している。	トイレ誘導時や入浴の時の羞恥心への配慮、日常の名前の呼び方など生活全般に於いて人格の尊重とプライバシーの確保には特に重視した支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者への声かけをする中でつとめて本人に決定してもらえよう場面作りを行っている。意思表示がしにくい場合は、選択肢を提案して本人が自分で選びやすくしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な流れはあるが、利用者の体調や気分に合わせて穏やかに暮せるよう配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	馴染みの理・美容院でカットや染毛したい方は、家族と連携してその人らしさを保てるよう手伝いしている。男性の髭剃り、寝起きの服装の乱れ、トイレ後の衣類の乱れ等気をつけて整えるなどしている。		
40	15	食事を楽しむ事ができる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	安全においしく食べられるようその人に合った調理や大きさにカット、また、飲み込みが困難な人にはトロミをつけたりしている。旬の食材を使い誤嚥防止の発声練習をしていただいたり、利用者・職員が楽しく食事ができるよう雰囲気作りを大切にしている。	専任の調理師が配置されており、旬の食材を取り入れバランス良く調理されている。個々の状態に応じ、刻み食やトロミ食を使用し食べ易く工夫している。家族と外食を楽しんだり、季節に応じた行事食、誕生会など年間を通して食を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を把握し一人ひとり食べやすいように工夫している。アレルギーや嗜好、好き嫌いを把握し別メニューに変更したり、トロミをつけるなどしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの機能に応じた口腔ケア支援をしている。義歯の間につまりやすい方は、毎食後うがいをして口腔内を清潔に保つようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し声かけや歩行介助を行い、なるべくトイレでの排泄をして頂けるようにしている。尿意のない方も時間を見ながらトイレでの排尿ができるよう誘導している。	排泄チェック表の活用や職員の誘導で失禁が減ってきている。日中はトイレでの排泄を支援しており、夜間帯は睡眠を重視し希望でオムツを使用している利用者もいる。誘導や見守りで失敗の回数を減らしており職員の努力が成果を上げている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳、ヤクルト、ポカリスエット等十分な水分補給をするようにしている。また、音楽に合わせた体操などを行い、下剤使用は医師の指示の下に使用しスムーズな排便が出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	夏場は回数を増やして出来るだけ一人ひとりの希望に合わせている。その日の体調や希望に合わせて入浴日や順番を変えたりしている。滑り止めマットを使用して安全な入浴を心がけている。	季節に応じゆずや入浴剤などでゆったりとくつろいで入浴を楽しんでいる。毎朝、全利用者の陰部清拭を行っており、一日が清潔で気持ちよく生活が出来る様に取り組むなど職員の努力が伺える。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人毎のペースにあわせ昼寝や休息がとれる様に配慮している。夜間に良く睡眠がとれるよう日中は体を動かすような運動に取り組んでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書のファイルを作っており職員全員が分かるようにしている。薬の間違いがないう、一覧ボードに個人ごとに貼る当番を決め服薬漏れのないようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんだりテーブルを拭いたり、利用者が出来るようなことは頼んでやっていただき、感謝の言葉を添えるようところがけている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族の協力をいただきながら外出できるようにしている。季節毎の花々や景色を見物したり公園にでかけて季節を感じていただけのようにしている。歩行の困難な方も車椅子ごと車に乗せて外出できるようにしている。	家族の協力を得て、盆・正月の外泊や外食、週1回の帰宅もある。希望に応じ、買い物やドライブなどホーム以外で過ごす場所や時間を作ることで、気分転換やストレス発散の機会を持てる様に支援している。マッサージのついでに墓参りをしたり、系列のディサービスの行事に出掛ける利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人が金銭を所持したいと希望される場合には、家族と相談して持っていていただいている。移動販売のパン屋さんが来たり、病院帰りや外出時に買い物されたりしている。訪問されたお孫さんにあげたりもされている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話を使用したいときには、すぐに対応して話できるよう配慮してそのような機会を作るようにしている。年賀やお見舞いのはがきの宛名書きをしていただいたり代筆やなどお手伝いをしている。</p>		
52	19	<p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節毎の草花、造花、鉢物などを飾ったり、利用者と共に作成したものを展示している。また、エアコンの風量、風向きなどにも配慮した空間作りに心がけている。</p>	<p>1号棟と2号棟では構造が異なっているが、いずれも、明るく広々としており清潔が行き届いている。大型のソファは食後の利用者のくつろぎの場所になっている。身長や立ち上がりにも配慮し、高さを調整しており安全への工夫が見られる。個々がゆったり安心してくつろげる共用空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者個々人の性格や性分、気の合う方同士それぞれ折り合いがつくようなテーブルや椅子の配置にするなどしている。ソファなども一人ひとりがくつろいだり集まったりできるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>その人の馴染みの品々、思い出の好きな物など家族に協力してもらい、心地よく過ごせるいただけるよう配慮している。</p>	<p>テレビやぬいぐるみ、位牌など使い慣れた品や思い出の深い物を持ち込んでいる。シンプルに整理された居室や賑やかに飾り付けてある居室など個性が感じ取れ、本人らしく安心して暮らせる工夫がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>室内は段差がないようにしてあり手すりやスロープをつけ安全に歩行できるようにしてある。部屋の前には、人形や花、名札など本人毎に分るよう目印を置き配慮している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない